



イベント情報

※県観光情報誌「ググとぐんま(夏特集号)」に掲載されている主なイベントを紹介します。
詳しくはお問い合わせください
※内容が変更になることがありますので、お出掛けの際はご確認ください

名称	日程・時間	会場	内容	費用	問い合わせ先
わたらせ渓谷鐵道トロッコ列車(7月)	・トロッコわたらせ渓谷号…土・日曜日、祝日 ・トロッコわっしー号…金～日曜日(2日を除く)、17日(月)～19日(水)、25日(火)、26日(水)	わたらせ渓谷鐵道	窓ガラスのない列車で、爽やかな風に吹かれながら渓谷の景色を楽しめます	一般=510円、小学生=260円(整理券代) ※別途、乗車券が必要です	わたらせ渓谷鐵道大間々駅 ☎0277-72-1117 FAX0277-73-3121
花ハス遊覧船	7月10日(月)～8月15日(火) 午前8時30分～午後3時	つつじが岡公園内渡船乗り場(館林市花山町)	城沼に自生するハスの群生地を船でかき分けて進み、花を間近で眺められます	一般=800円、小学生以下=300円	館林市観光協会 ☎0276-72-4111 FAX0276-72-9122
鬼石夏祭り	7月15日(土)、16日(日) 午後2時～10時	鬼石中心市街地(藤岡市鬼石)	関東一といわれる5台の山車によるおはやしや「東のだんじり」と称される勇壮な新田坂の駆け上がりが見られます	無料	藤岡市鬼石商工会 ☎0274-52-2062 FAX0274-52-6024
渋川へそ祭り		新町五差路付近(渋川市渋川)	おなかに顔の絵を描いて踊る「はら踊り」で有名な夏の風物詩です	無料	渋川市観光課 ☎0279-22-2873 FAX0279-22-2132
山の日記念「21世紀の森まつり」		県立森林公園「21世紀の森」(沼田市・川場村)	木工工作・クライミングの体験や木製品・物産品の販売、音楽ステージなどを実施します	無料	利根沼田森林組合 ☎0278-52-2127 FAX0278-52-3557

おたよりコーナー



クロスワードパズルへの応募はがき・メールを紹介します

◆高崎競馬場跡地の整備が決まり、一安心しています。

コンベンション施設ができることで、経済効果だけでなく、女性の雇用の場が生まれることも期待できるとのこと。働く世代の女性としてうれしく思います。
(前橋市 40歳)

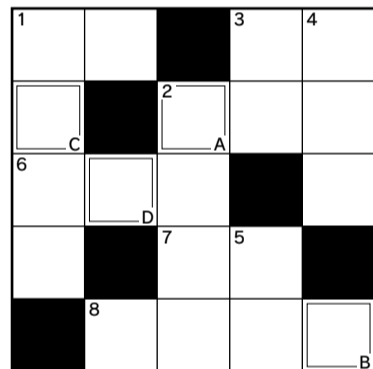
◆県が開発したニジマス「ギンヒカリ」は、海なし県というハンディキャップを逆に利用した、県漁業の底力を示す成功例ですね。

これからもっと知識を増やして、「ハコスチ」とともに県外の人に自慢したいです。(高崎市 61歳)

※掲載された人には、ぐんまちゃんのぬいぐるみをプレゼントします

クロスワードパズル

正解者の中から抽選で「県有施設の無料ご招待券(2枚組み)」などを各5人にプレゼントします



答え:A～Dを順番に並べると?



たてのかぎ

- 1 車両などがゆっくり進むこと。○○○○ 運転
- 2 一番信頼する有能な部下
- 3 一方は高く一方は低い、傾斜している道
- 4 6本の弦を指先などではじいて演奏する楽器。エレキ○○○
- 5 危ぶみ恐れること。気掛かり。将来を○ ○する

よこのかぎ

- 1 その時の相場の価格
- 2 自分の仲間。また仲間として力を貸すこと
- 3 他人をだまして財物を取ることに
- 6 その国特有の技芸。日本では相撲などのこと
- 7 1年の中で雨の多い季節。日本では梅雨の時季などのこと
- 8 服の袖と身頃をつなぎ合わせる部分。またその寸法

応募方法 はがき、Eメールまたは「ぐんま電子申請受付システム」。

①パズルの答え②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥今月のぐんま広報へのご意見・ご感想⑦希望の賞品名を書いてください(Eメールは件名に「クロスワードパズル7月」と記入してください)

応募先
・はがき 〒371-8570 群馬県庁広報課クロスワードパズル係
・Eメール crossword@pref.gunma.lg.jp
・電子申請 <http://www.shins-ei.elg-front.jp/gunma/navi/index.html> (携帯電話用ホームページのURLは右図から読み取れます)



応募期限 7月12日(水)消印有効
※Eメール、電子申請は12日送信分まで
賞品 次の中から希望のものを明記してください
近代美術館、館林美術館、歴史博物館、自然史博物館、土屋文明記念文学館、日本絹の里、ぐんまフラワーパーク、ぐんま天文台、ぐんま昆虫の森、ぐんまちゃんトートバッグ、ぐんまちゃんグッズ、サスパクサツ群馬(8月20日ツエーゲン金沢戦)、群馬ダイヤモンドベガサス(今シーズンホームゲーム共通)、群馬交響楽団夏休みコンサート(8月26日)

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

編集室だよ!

特集の取材でその土地のそれぞれの魅力を聞き、今度は仕事以外で訪れ、今まで体験したことのないこともやってみたいという気持ちになりました。

それは、取材をした人が実際に体験し、実感していることを自分の言葉で私に伝えてくれることに、魅力を感じたからです。

今までの旅行は、事前にインターネットで調べた見どころを回るだけということが多かったように思います。

これからは、地元の人と会話をすることで得られる経験や魅力の発見をしたいと思います。(中澤)